

ネットいじめ

～ SNSでの人間関係 ～

参加費
無料

開催日時 [オンライン開催]

2.20(金) 15:00-17:30

スマホ、AI時代の今、 あなたは向き合っていますか？

SNSは、若い世代にはなくてはならない身近なものです。日々の連絡、仲間との交流だけでなく、自分らしくいられる「居場所」になっていることも珍しくありません。一方、諸外国では、年齢によるSNS制限の動きも活発です。本シンポジウムでは、「ネットいじめ」をきっかけに、これからのSNSとの付き合い方を当事者目線で考えます。

モデレータ

兵庫県立大学 竹内和雄 氏

パネリスト

中学生：信州大学教育学部附属長野中学校生徒 たつの市立龍野西中学校生徒

高校生：神奈川大学附属高等学校生徒 関西学院高等部生徒

大学生：一般社団法人ソーシャルメディア研究会学生 信州大学教育学部学生

有識者

信州大学教育学部 准教授 森下 孟 氏

行政

総務省 情報流通行政局 情報流通振興課 情報活用支援室 室長 竹下 勝 氏

プログラム

15:00～15:15 主催者、総務省挨拶

15:15～15:25 アイスブレイク

15:25～16:20 各校の取り組み発表、感想交流

- i 信州大学教育学部附属長野中学校
- ii たつの市立龍野西中学校
- iii 神奈川大学附属高等学校
- iv 関西学院高等部

16:20～16:30 休憩

16:30～17:20 パネルディスカッション

テーマ：ネットいじめ（SNSでの人間関係）

17:20～17:30 指導助言

- i 信州大学教育学部 准教授 森下孟 氏
- ii 兵庫県立大学 教授 竹内和雄 氏

～ 主要登壇者紹介 ～



兵庫県立大学 **竹内和雄**教授

公立中学校で20年生徒指導主事等を担当。市教委指導主事を経て2012年より大学勤務。2023年から現職。生徒指導を専門とし、いじめ、不登校、ネット問題、生徒会活動等を研究している。文部科学省有識者会議座長など、子どもとネット問題についての委員を歴任。生徒指導提要(改訂版)執筆協力者。2014年ウィーン大学客員研究員。



関西学院高等部 生徒

関西学院高等部は兵庫県にある高校で初等部から大学までの一貫教育を行っているキリスト教主義の学校である。その中でもICT委員会は、学校内のiPadのルールの改善やネットリテラシーの向上のための取り組み、学校外への講演活動を行っている。委員会の活動理念として「先生と生徒の架け橋になりたい」という文言を掲げている。



たつの市立龍野西中学校 生徒

龍野西中学校は、兵庫県のたつの市にある中学校である。年2回開催されるたつの市生徒会サミットでは、スマホやネットの使い方やいじめ問題など今の中学生が抱える問題について議論している。たつの市内の中学校全体で取り組んでいるノーゲーム・ノースマホデーなど、特にネットリテラシーの向上に力を入れている。今年度の生徒会執行部は『常昇～仲間と共に～』というスローガンを掲げており、より良い学校をめざして日々活動している。



信州大学教育学部附属
長野中学校 生徒

信州大学教育学部附属長野中学校では、生徒一人ひとりが主体的に考え、探究し、行動する学びを重視している。その実現に向け、対話的な学びやICT活用を取り入れ、仲間と協働しながら課題を探究・解決する力を育てている。また、ネットモラルについても、生徒自身が自ら考え、地域や社会とつながる力を大切にしている取り組みを行っている。



一般社団法人
ソーシャルメディア
研究会 学生

ソーシャルメディア研究会は、青少年がトラブルに巻き込まれることなく、ネットとうまく共生できる社会をめざして活動する大学生集団である。授業・サミット・オフラインキャンプなどの活動を通して、青少年が「賢いネットの使い方」を学ぶきっかけ作りをしている。取り組みを通して、子どもたちだけでなく、学生自身も成長する場となっている。

申し込み方法



本シンポジウムは、
どなたでもご参加いただけます！

<https://www.fmmc.or.jp/net-shakai/tabid374.html>

申し込み締め切り日:2026年2月17日(火)

お申し込みはこちら



e-ネットキャラバン

e-ネットキャラバンは「安心・安全なICT(インターネット)利活用」に必要な気づきを広めるための啓発講座です。小学3年生から高校3年生ならびにその保護者・教職員を対象に全国で年間約2,500回開催されています。